【授業科目】卒業研究　Graduation research

担 当 教 員	開講年次	選択必修	単位数	時間数	授業形態	オフィスアワー	教職員への授業公開
高崎 昭彦、千原 猛、星野 真理 森 啓至、森本 誠、小菅 優子 杉浦 諭、山口 央輝、榎本 喜彦 大島 茂、澤田 浩秀	4 年次 前 期	必 修	4	120	演習	巻末 掲載	可

授業概要 （内容と進め方） 及び課題に対する フィードバック方法	研究基礎演習で学んだ知識・技術を用いて、担当教官の指導の下、研究過程を教授する。まず、研究課題を探して考えだし、１） 研究テーマ決め、２）テーマに合わせた論文等での情報収集、３） 情報に基づいた研究計画の立案、４）検討手法を決めて、研究を進める。５）出されたデータを解析・検討し、論理的に結論・考察を導き出す能力を養う。最後の締めくくりとして６） 研究発表用資料の作成、７）研究発表、８）論文作成も教授する。更にチームを組んで行う場合は、ディスカッション能力、協調性が養われることも期待できる。 課題に対するﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法／提出されたレポートにコメントをつけて返却する。
実務経験に関する 授業内容	臨床検査士技師・医師・薬剤師の臨床経験をもつ教員が、臨床検査技師として必要な基礎研究の知識について、発展的な研究に関する資料・教材を交えながら指導していく科目である。
授業の位置づけ	本学のディプロマ・ポリシー⑤「将来に向け臨床検査を主体的に学び、臨床検査の専門職としてのキャリアを伸ばせる能力を持つことができる。」の達成に寄与している。
到達目標 （履修者が到達 すべき目標）	①研究を理解することができる。 ②一人で研究を進めることができる。 ③研究成果をまとめ発表することができる。
時間外学習に必要な 学修内容および 学習上の助言	研究基礎演習にて、卒業研究で行うことを理解し、必要なことを習得しておく。研究基礎演習で習ったことを復習しておく。 ※その他に、実習で学んだことを振り返るための課題を課すことがある（各６０分）。 上記例は、１単位30回科目の場合で、予習+復習に必用な時間は、1時間／１回となる。
授業計画	第 1 回　担当教員から指示のあった内容を行う。 第 2 回　同上 第 3 回　同上 第 4 回　同上 第 5 回　同上 第 6 回　同上 第 7 回　同上 第 8 回　同上 第 9 回　同上 第 10 回　同上 第 11 回　同上 第 12 回　同上 第 13 回　同上 第 14 回　同上 第 15 回　同上 担当教員がそれぞれクラスごとにすべての回を担当
評価方法 評価基準	成績は以下の評点配分によって総合的に判断する。 研究への取り組みに対しての評価30%、発表に対しての評価70%
教科書	なし　　参考書等　なし
学生への メッセージ	研究を行う上での必要なことを一通り、行うことによって学びます。将来、研究を行うにせよ、しないにせよ、非常に貴重な体験になると思います。